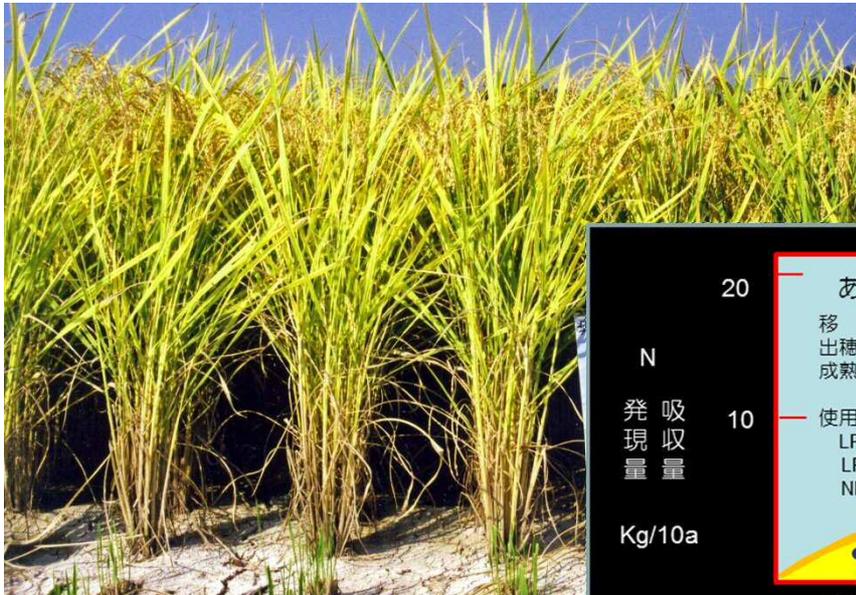
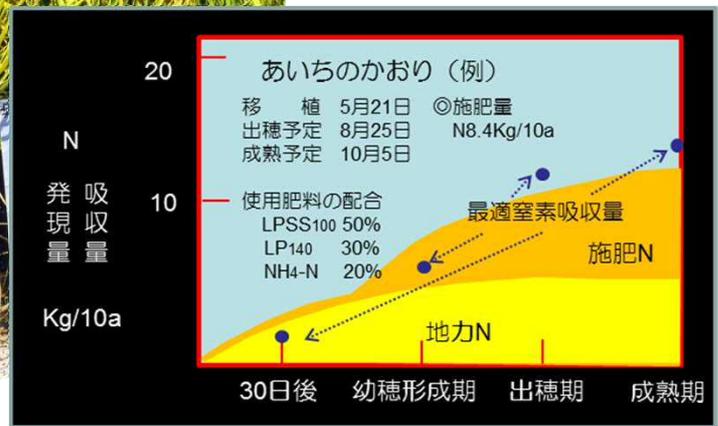




省力で環境にもやさしい全量基肥施肥 による水稻栽培技術の開発



愛知県で開発された品種
「あいちのかおり」



「あいちのかおり」の全量基肥施肥設計

（作物研究所開発）

背景

従来の米づくりには非常に多くの作業が必要でした。特に真夏に行う追肥は暑く大変な作業で、農家にとって大きな負担となっていました。そのため、試験場では簡易に行うことのできる稲作技術の開発に取り組みました。

成果の内容

肥効調節型肥料は、稲が必要なときに必要なだけ肥料が溶け出すように工夫された肥料です。試験場ではJAあいち経済連と協力し、稲作に適した肥効調節型肥料を開発するとともに、この肥料を用い、稲作を始めるときに一度だけ肥料を施せば、その後は追肥がいらぬ「全量基肥栽培」技術を確立しました。

愛知県農業への貢献

開発された技術は、1992年以降普及に移され、肥料の製品化は22銘柄にも及びました。全量基肥施肥技術の普及率は、現在、県内水稻栽培面積の85%にまで達しています。

（作物研究部）